

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	948-1 スポーツ活動振興事業	会計	01	一般会計
基本	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育費
策		項	06	保健体育費
		目	01	保健体育総務費
細目	スポーツ活動の推進	細目	102	スポーツ活動振興事業
細々目		01	スポーツ活動振興事業	
基本計画該当頁		136		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード	450800	評価者	松浦正光
	名称	スポーツ振興課	氏名	
			連絡先	22 - 9680 (内線) 3835

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
スポーツに関心のある市民、スポーツを実践している市民 (※対象件数)	多様なスポーツ活動へ個人・団体・地域等での参加する機会が確保される。
根拠法令・要綱等	教育委員会関係補助金等交付要綱
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツフェスティバルの開催(競技種目=卓球・バレーボール・ソフトボール・綱引・グランドゴルフ・ゲートボール・ターゲットバードゴルフ) 伊賀上野シティマラソンの開催(ハーフ・10km・5km・3km・ジョギング) 忍びの里レディーストーナメントサッカーの開催 青山高原つつじクォーターマラソン大会の開催(10km・5km・3km) 伊賀フットボールクラブへの助成 体育祭りの開催(島ヶ原・阿山・大山田・青山) 各種スポーツ大会の開催(いがまち・島ヶ原・阿山・大山田)
状況変化等	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツフェスティバルについては、市民センター単位での参加としているが、毎年同種目に同選手が出場するなどマンネリ傾向にあり、だれもが参加できるニュースポーツ等の種目を新設し改善していく必要がある。 つつじマラソンと伊賀上野シティマラソンについては、事業が定着し参加者数も増加しており、かつ開催時期や趣旨が異なることから風物詩的事業として継続したい トップアスリートを目指すスポーツ活動は、見るスポーツとして市民の意識が向上してきた。 伊賀市体育協会各支部に委託している事業については、旧上野市地域では、各地域での事業としていることから、廃止の方向で進めていく必要がある。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
伊賀フットボールクラブ活動(大会数)	回	目標 55 実績 55	目標 55 実績 55	55	55
参加型事業(市民スポーツフェスティバル・マラ)	回	目標 3 実績 3	目標 3 実績 3	3	3
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
参加者数	各種事業への参加者数による評価	人	目標 4300 実績 4470	目標 4500 実績 4570	4600	4700
観戦者数	観客動員数による評価	人	目標 1200 実績 1300	目標 1500 実績 1300	1400	1500

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	伊賀FCは、伊賀地域を代表する種目のサッカー競技で、トップアスリートを目指す青少年の夢と希望を醸成する組織であり、多くの市民が会員となり参画している組織であり。伊賀市総合型スポーツの模範として継続しなければならない。今マラソンについては、生涯スポーツとして多くの市民に認識され、マラソン人口は、年々増加の傾向にあります。ついては当市については、全国でも春、秋の2回マラソン大会を実施することにより、生涯スポーツを実践する機会を提供し生涯スポーツを楽しむ市民の増加を図らなければならない。市民スポーツフェスティバルについては、当市で唯一市民が地域対抗で競技を競い、親睦を深める場であり、市民スポーツの祭典として実施していかなければならない。
有効性	3	マラソン及スポーツフェスティバル事業については、参加者数が増加傾向にあることから、生涯スポーツ人口の増加促進に効果がある。
達成度	4	事業実績の数値から、100パーセント達成されている。
効率性	4	これらの事業については、すべて実行委員会を組織しての事業であり、市直営の事業より、市民が事業参画している為、効率的に実施されている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	市民スポーツフェスティバルについては、実施種目のマンネリ化と参加者の固定化傾向から新たな種目の編入の検討を行う。

進捗状況	年度	委託	工事	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容					
				事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	
				市民スポーツフェスティバル委託料	1	式	1,050	市民スポーツフェスティバル委託料	1	式	1,050	市民スポーツフェスティバル委託料	1	式	900	市民スポーツフェスティバル委託料	1	式	900	市民スポーツフェスティバル委託料	1	式	900	
				伊賀上野シティマラソン委託料	1	式	4,000	伊賀上野シティマラソン委託料	1	式	4,000	伊賀上野シティマラソン委託料	1	式	3,800	伊賀上野シティマラソン委託料	1	式	3,800	伊賀上野シティマラソン委託料	1	式	3,800	
				忍びの里レディーストーナメントサッカー委託料	1	式	3,000	忍びの里レディーストーナメントサッカー委託料	1	式	2,463	忍びの里レディーストーナメントサッカー委託料	1	式	2,125	忍びの里レディーストーナメントサッカー委託料	1	式	2,125	忍びの里レディーストーナメントサッカー委託料	1	式	2,125	
				伊賀フットボールクラブ助成金	1	式	3,400	伊賀フットボールクラブ助成金	1	式	3,000	伊賀フットボールクラブ助成金	1	式	3,000	伊賀フットボールクラブ助成金	1	式	3,000	伊賀フットボールクラブ助成金	1	式	3,000	
				青山高原つつじマラソン委託料	1	式	1,000	青山高原つつじマラソン委託料	1	式	1,000	青山高原つつじマラソン委託料	1	式	800	青山高原つつじマラソン委託料	1	式	800	青山高原つつじマラソン委託料	1	式	800	
				市町対抗駅伝	1	式		市町対抗駅伝	1	式	538	市町対抗駅伝	1	式	753	市町対抗駅伝	1	式	753	市町対抗駅伝	1	式	753	
				体育祭・スポーツ大会委託料	1	式	4,396	体育祭・スポーツ大会委託料	1	式	2,443	体育祭・スポーツ大会委託料	1	式	1,561	体育祭・スポーツ大会委託料	1	式	1,800	体育祭・スポーツ大会委託料	1	式	1,800	
				その他	1	式	1,328	その他	1	式	2,831	その他	1	式	1,416	その他	1	式	1,600	その他	1	式	1,600	
				事業費計(A)			18,174	事業費計(A)			17,325	事業費計(A)			14,355	事業費計(A)			14,778	事業費計(A)			14,778	
				事業投入人員	人件費(B)	1.2	人	8,640	人件費(B)	1.2	人	8,640	人件費(B)	3.0	人	21,600	人件費(B)	3.0	人	21,600	人件費(B)	3.0	人	21,600
				フルコスト(A)+(B)			26,814				25,965			35,955			36,378			36,378			36,378	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	18,174	17,325	14,355	14,778	14,778
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他			5,001	5,001	5,001
	一般財源	18,174	17,325	9,354	9,777	9,777
	計	18,174	17,325	14,355	14,778	14,778
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等			ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円	ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円	ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円